

部名	環境部
----	-----

施策評価調書

1 施策の概要

(1)	施策名	自然環境保全意識の普及・啓発／学習機会の提供及び情報の整備・					
(2)	総合計画の体系	第	05	章	環境を守り育てるまちづくり		
		第	02	節	自然と共生するまちづくり		
		第	21	細節	自然環境保全意識の普及・啓発／学習機会の提供及び情報の整備・		
(3)	事業費など (単位:千円)	項目\年度(平成)		27年度決算額	28年度決算見込額	29年度予算額	
		事業費(A)		0	0	0	
		従事職員数		0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		所要人件費(B)		0	0	0	
		総事業費(A+B)		0	0	0	
		財源内訳	収	国庫支出金	0	0	0
				府支出金	0	0	0
				その他	0	0	0
			市負担	地方債	0	0	0
				その他	0	0	0
一般財源	0			0	0		

2 評価の指標(施策に係る成果指標)

指標項目		項目\年度(平成)	27年度実績	28年度実績	29年度計画
指標内容	まちなか水族館市民ボランティア数	目標値 (単位:人)	20.00	20.00	0.00
		実績値 (単位:人)	14.00	20.00	
		達成度(%)	70.0	100.0	
目標値の積算方法	登録人数				
指標内容		目標値 (単位:)	0.00	0.00	0.00
		実績値 (単位:)	0.00	0.00	
		達成度(%)	0.0	0.0	
目標値の積算方法					

3 施策の点検(施策を進めるうえでの課題)

まちなか水族館事業では、市内の公共施設に在来種の生態系を再現した水槽を展示することで、市民の水辺環境の保全、及び生物多様性に対する意識の向上を図っています。また、施設での水槽の展示にとどまらず、すいた環境教育フェスタや滋賀県立琵琶湖博物館との共催事業等において講座を開催するなど、学習機会の提供に努めています。しかし、水槽の維持管理や魚の生態を説明するボランティアの高齢化が進み、負担が伴っていることから、今後企業ボランティアの発掘など新たな担い手の模索に努めます。

また、生物多様性の保全のためには市内での活動にとどまらず、広域での取組みが求められることから、多様な主体と連携した取組みについて、検討を進めます。

4 施策の評価

次年度の 優先 順位	施策を構成する 事務事業名	室課名	事業 番号	市 単 独 事 業 区 分	施 策 へ の 貢 献 度	各視点からの評価 (20 → 4) 高 → 低						今後の 方向性 (実施 計画)
						妥 当 性	有 効 性	効 率 性	公 平 性	持 続 可 能 性	合 計	
1	まちなか水族館事業	環境政策室	01301	全 部	中	12	12	10	20	18	72	拡 充
2											0	
3											0	
4											0	
5											0	
6											0	
7											0	
8											0	
9											0	
10											0	
11											0	
12											0	
13											0	
14											0	
優先順位をつけるに あたっての考え方		なし										